

第4学年 図画工作科

教科目標

(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
 (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

評価方法

行動観察、作品評価、学習カードなどを用いて総合的に評価する。

月	単元・題材名	主な学習活動
4月	1 絵に表す すてきなペーパーショップ	<ul style="list-style-type: none"> ● 模様づくりの材料や技法から試したいことを思い付いたり、できた模様から表したい絵を考える。 ● 模様づくりの材料の形や色に着目して特徴を生かし、使い方を工夫して表す。 ● 自分や友人の作品から、よさや美しさ、工夫されていることなどを話し合う。
	2 造形遊び ぬのでかざろう むすんでかざろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 布やシートなどの材料で、場所の特徴を生かした材料の組合せ方を試しながら、場所の感じを変化させる方法を考える。 ● 場所の特徴に合った材料の結び方やつなぎ方、飾り方などを工夫して表す。 ● 場所の感じが変化していく面白さなどを感じ取る。
5月	3 立体に表す ねん土のひもから	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘土のひもを、積み上げたり巻き上げたりして立体に表す。 ● 粘土のひもの積み方や巻き方に変化を付けたり、できた形を変化させたりしながら、つくりたい形を考える。 ● ピアノ線や粘土べらなどの用具の使い方を工夫して表す。
	4 工作に表す 切って切って木の世界	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな切り方を試しながら、身の回りを楽しくするものや生活に役立つものをつくる。 ● 材料の組合せによってできた形や、偶然見付けた形から新しい形を思い付き、つくりたい形や色の組合せを考える。 ● 材料の形を生かしながら、いろいろなつなぎ方を工夫して表す。 ● 自分と友人の作品を見て、表し方の共通点や相違点、面白さなどを話し合う。
7月	5 造形遊び つないでいくと 木で	<ul style="list-style-type: none"> ● 木切れを、のこぎりで切ったり釘でつないだりする。 ● 木切れを組み合わせたり釘を打ったりしながら、友人と協力して面白い形を考える。 ● 木切れを動かすことができるつなぎ方や、丈夫なつなぎ方など、接合の仕方を工夫する。 ● 自分と友人の、木切れの切り方やつなぎ方に目を向け、表現の共通点や相違点をとらえ話し合う。
9月	6 立体に表す ゆめの世界のゆめの家	<ul style="list-style-type: none"> ● ペットボトルと紙粘土で、夢の家をつくる。 ● 夢の家にふさわしい形や色にするために、ペットボトルや紙粘土の特性を生かした組合せ方、飾り方などを考える。 ● ペットボトルの接合や紙粘土の付け方、他の材料を使った飾り方、丈夫さなどについても工夫して表す。
10月	7 絵に表す ゆめのれいぞう庫	<ul style="list-style-type: none"> ● カッターナイフで紙に窓を開けることに興味をもち、窓のある楽しい家をつくることに取り組む。 ● 窓の中に何が見えるとよいか思い付いたり、面白い窓の形や、楽しくなるような家の形や周りの様子などを考える。 ● カッターナイフを安全に使い、開いたり閉じたりする窓や家の装飾などをつくる。 ● 自分や友人の作品を見合って、工夫したところやよさを考える。
	8 造形遊び 光でうつしだす世界/ プロジェクタで	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きく投影した絵の中に自分自身を主人公として組み合わせる。 ● 表現したいことに合った絵のかき方や、組み合わせるポーズについて考える。 ● 絵と人との組合せ方を考え、映すものの大きさや位置などを考えてつくる。 ● できた作品を互いに見て、よさや面白さ、表現の工夫を話し合う。

11月	9 絵に表す 物語の世界	<ul style="list-style-type: none"> ● 好きな物語を選んで読んでおく。 ● 気に入った場面をいくつか選び、アイディアスケッチするなどして、かきたい場面を決める。 ● 形や色の組合せを考えて心に残った場面を工夫して表す。 ● 自分や友人の作品を互いに見ながら、どのような気持ちで想像してかいたのか、表し方について話し合
12月	10 工作に表す とびだすメッセージ / カードで	<ul style="list-style-type: none"> ● 飛び出す仕組みに関心をもち、形や色、動きを工夫したカードをつくる。 ● より美しいもの、楽しく動くものにしようと、形や色を見直し、思い付いた仕組みの動きを加えることなど ● を考える。 ● 表したい感じになるまで形を変えたり、色の組合せを試したりする。
1月	11 立体に表す それ行けたんけん たい/ む人島たんけん	<ul style="list-style-type: none"> ● 無人島や探検隊を想像して、どのような形や色にするか考える。 ● 液体粘土の特徴を生かして無人島をつくり、他の材料の使い方や接着などを試みながら順序を工夫し ● てつくる。
2月	12 鑑賞する ここには、きっとい るよ	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校内のいろいろな場所の雰囲気から、そこにいる住人が、どのような形や色をしているか考え粘土で ● 形にし、その場所におく。 ● 粘土の特徴を生かして、形や色、接合を工夫する。 ● 住人と場所との関係がよく分かるように写真の撮り方や説明を考えたり、お互いの表現の工夫を話し ● 合ったりする。
3月	13 絵に表す ほってすって	<ul style="list-style-type: none"> ● 日頃の生活で印象に残ったことを思い出したり、板切れを思いに合うように組み合わせたりしながら、木 ● 版で表したいことを考える。 ● 彫る方向、彫る部分と彫り残す部分、板切れの組合せ方と配色など、効果的な表し方を工夫しながら彫 ● る。 ● 友人と製作過程や完成作品を見合い、形や色の組合せ、刷り方の工夫などについて、よさや面白さな ● どを話し合う。